

千代田区の財政状況

地方自治法第243条の3第1項及び「千代田区『財政事情』の作成及び公表に関する条例」(昭和23年千代田区条例第30号)の定めるところにより、本区の財政状況を次のとおり公表します。

令和元年度下半期	自	令和元年10月1日	令和2年5月1日
		至 令和2年3月31日	

千代田区は、行財政運営の効率化に積極的に取り組み、「強い財政基盤」を確立することで、地域の特性や実状を踏まえた質の高い行政サービスを継続的かつ安定的に提供していくための不断の内部努力に取り組んできました。現下の不安定な社会経済情勢においては、厳しい内部努力を行うことで将来世代の負担をできる限り少なくするとともに、区民生活を支え、守ることを第一に考え、不安の解消を積極的に図っていく必要があります。

このため、令和2年度予算は、これまでの財政基盤をしっかりと確立・堅持しながら、「ちよだみらいプロジェクト・千代田区第3次基本計画2015-」が掲げる、豊かな地域社会の実現をめざすことを基本的な考え方として予算編成を行いました。

今後とも職員一人ひとりが、区民の目線にたった行政サービスに努め、現在の千代田区が抱える課題と向かうべき将来像を認識し、最少の経費で最大の効果をあげる行財政運営を行い、区民満足度の高い区政を推進していきます。

今回は令和元年度下半期の区財政の運営状況と、あわせて令和2年度当初予算の概要についてお知らせします。

※ 金額や構成比はいずれも表示単位未満で四捨五入しているため、合算した数値と合計が異なる場合があります。

令和元年度財政運営の状況

1 一般会計の概要 予算現額の推移

(単位:千円)

歳入	当初予算額	繰越明許費	上半期	下半期		予算額計	
			補正予算 第1号	補正予算 第2号	補正予算 第3号		
1	特別区税	19,708,470	0	0	0	1,600,000	21,308,470
2	地方譲与税	302,300	0	0	0	0	302,300
3	利子割交付金	50,000	0	0	0	0	50,000
4	配当割交付金	200,000	0	0	0	0	200,000
5	株式譲渡所得割交付金	150,000	0	0	0	0	150,000
6	地方消費税交付金	9,000,000	0	0	0	200,000	9,200,000
7	自動車取得税交付金	60,000	0	0	0	0	60,000
8	環境性能割交付金	27,000	0	0	0	0	27,000
9	地方特例交付金	11,000	0	0	0	0	11,000
10	特別区交付金	4,517,679	0	0	0	1,632,781	6,150,460
11	交通安全対策特別交付金	25,000	0	0	0	0	25,000
12	分担金及び負担金	978,613	0	0	0	0	978,613
13	使用料及び手数料	6,012,438	0	0	0	0	6,012,438
14	国庫支出金	4,496,537	6,318	130,148	0	0	4,633,003
15	都支出金	4,293,105	3,159	0	0	0	4,296,264
16	財産収入	326,478	0	0	0	449,999	776,477
17	寄附金	38,120	0	0	0	111,550	149,670
18	繰入金	8,607,355	380,700	0	1,260,949	0	10,249,004
19	繰越金	100,000	104,783	100,000	0	1,454,027	1,758,810
20	諸収入	1,577,839	18,000	0	0	0	1,595,839
合計		60,481,934	512,960	230,148	1,260,949	5,448,357	67,934,348

(単位:千円)

歳出	当初予算額	繰越明許費	上半期	下半期		予備費支出 充用増減	予算額計
			補正予算 第1号	補正予算 第2号	補正予算 第3号		
1	議会費	480,747	0			0	480,747
2	子ども費	16,555,393	0			0	16,555,393
3	保健福祉費	7,663,453	0			17,577	7,681,030
4	地域振興費	6,013,394	12,636	230,148		0	6,256,178
5	環境まちづくり費	11,100,261	500,324		139,249	795	11,740,629
6	総務費	4,740,053	0		1,121,700	1,249	5,863,002
7	職員費	11,637,582	0			0	11,637,582
8	公債費	70,997	0			0	70,997
9	諸支出金	2,070,054	0			5,430,780	7,500,834
10	予備費	150,000	0			△ 2,044	147,956
合計		60,481,934	512,960	230,148	1,260,949	5,448,357	67,934,348

(1) 当初予算

豊かな地域社会の実現に向け、健全な財政運営を継続しつつ、積極的かつ効果的な事業展開を図る予算とし、中長期的な視点のもと複数年度の事業推移を見据え、編成を行い、604億8,193万4千円を計上しました。

(2) 補正予算

上半期は、商工振興に要する経費、税務一般事務に要する経費の補正を行い、2億3,014万8千円を追加計上しました。

下半期は、公園・児童遊園等の維持管理に要する経費、施設経営及び財産管理事務に要する経費、社会福祉一般事務に要する経費、財政調整基金積立金、社会資本等整備基金積立金、地域福祉支援基金積立金の補正を行い、67億930万6千円を追加計上しました。

補正予算の内容は次のとおりです。

「補正予算第1号」	2億3,014万8千円	
(内訳) ①千代田区プレミアム付商品券事業		1億3,014万8千円
②過誤納還付金		1億円

「補正予算第2号」	12億6,094万9千円	
(内訳) ①国史跡常磐橋の修復		1億3,924万9千円
②旧区立外神田住宅区分所有部分取得		11億2,170万円

「補正予算第3号」	54億4,835万7千円	
(内訳) ①国・都支出金過年度超過交付金等返還金		1,757万7千円
②財政調整基金積立金		25億4,340万5千円
③社会資本等整備基金積立金		28億8,690万6千円
④地域福祉支援基金積立金		46万9千円

(3) 繰越明許費

令和元年度の最終予算額は、令和元年度の当初予算及び補正予算額に、平成30年度からの繰越明許費5億1,296万円を加え、679億3,434万8千円となりました。

また、令和元年度に計上した経費のうち、その支出が翌年度にわたるため、令和2年度へ繰り越すことができる繰越明許費の限度額は、15億9,084万8千円と決めました。

その内訳は次のとおりです。

① 千代田区プレミアム付商品券事業	5,294万8千円
② (仮称) 外神田一丁目公共施設整備 (工事費)	2億5,700万円
③ (仮称) 外神田一丁目公共施設整備 (工事監理委託料)	920万円
④ 地域別まちづくりの推進 (神田駿河台地域まちづくりの推進)	1億5,000万円
⑤ 旧区立外神田住宅区分所有部分取得	11億2,170万円

(4) 歳入・歳出の状況

令和2年3月末現在の歳入・歳出の状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

【歳入】	予算現額	収入済額	収入率
特別区税	21,308,470	19,837,402	93.1
地方譲与税	302,300	302,370	100.0
地方消費税交付金	9,200,000	9,222,382	100.2
特別区交付金	6,150,460	6,413,064	104.3
使用料及び手数料	6,012,438	6,166,832	102.6
国・都支出金	8,929,267	5,963,617	66.8
繰入金	10,249,004	123,701	1.2
繰越金	1,758,810	1,758,809	100.0
その他	4,023,599	3,757,519	93.4
計	67,934,348	53,545,696	78.8

(単位:千円、%)

【歳出】	予算現額	支出済額	執行率
議会費	480,747	427,221	88.9
子ども費	16,555,393	10,153,675	61.3
保健福祉費	7,681,030	5,441,144	70.8
地域振興費	6,256,178	4,529,961	72.4
環境まちづくり費	11,740,629	4,873,737	41.5
総務費	5,863,002	2,423,164	41.3
職員費	11,637,582	9,892,209	85.0
その他	7,719,787	1,919,211	24.9
計	67,934,348	39,660,322	58.4

2 国民健康保険事業会計の概要

[歳入・歳出の状況]

令和元年度予算は、当初55億2,060万円を計上し、その後補正は行いませんでした。
 なお、令和2年3月末現在の歳入・歳出の状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

【歳入】	予算現額	収入済額	収入率
国民健康保険料	1,659,730	1,554,596	93.7
都支出金	3,112,098	2,717,028	87.3
繰入金	625,429	606,356	97.0
その他	123,343	1,082,433	877.6
計	5,520,600	5,960,413	108.0

(単位:千円、%)

【歳出】	予算現額	支出済額	執行率
総務費	191,201	125,693	65.7
保険給付費	3,101,329	2,706,202	87.3
国民健康保険事業費納付金	1,947,813	1,892,196	97.1
その他	280,257	180,312	64.3
計	5,520,600	4,904,402	88.8

3 介護保険特別会計の概要

[歳入・歳出の状況]

令和元年度予算は、当初43億2,342万9千円を計上し、その後補正は行いませんでした。

なお、令和2年3月末現在の歳入・歳出の状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

【歳入】	予算現額	収入済額	収入率
介護保険料	979,936	973,346	99.3
国庫支出金	785,308	709,301	90.3
支払基金交付金	1,039,302	892,535	85.9
都支出金	567,773	517,439	91.1
繰入金	878,541	705,204	80.3
その他	72,569	257,351	354.6
計	4,323,429	4,055,176	93.8

(単位:千円、%)

【歳出】	予算現額	支出済額	執行率
総務費	278,684	227,436	81.6
保険給付費	3,740,221	3,132,681	83.8
地域支援事業費	181,961	123,800	68.0
その他	122,563	53,438	43.6
計	4,323,429	3,537,355	81.8

4 後期高齢者医療特別会計の概要

[歳入・歳出の状況]

令和元年度予算は、当初17億5,387万1千円を計上し、その後補正は行いませんでした。

なお、令和2年3月末現在の歳入・歳出の状況は次のとおりです。

(単位:千円、%)

【歳入】	予算現額	収入済額	収入率
後期高齢者医療保険料	1,113,958	1,056,670	94.9
繰入金	550,819	500,819	90.9
その他	89,094	108,161	121.4
計	1,753,871	1,665,650	95.0

(単位:千円、%)

【歳出】	予算現額	支出済額	執行率
総務費	45,820	33,965	74.1
広域連合納付金	1,546,871	1,534,532	99.2
保健事業等費	35,230	24,217	68.7
その他	125,950	1,897	1.5
計	1,753,871	1,594,611	90.9

5 区民負担の状況

区の歳入は、区民の皆様に納めていただく特別区民税のほか、国や東京都からの補助金などによって構成されています。

このうち、特別区民税現年課税現年度分調定額に基づく区民負担額は次のとおりです。

特別区民税 現年課税現年度分調定額	1,776,355 万円
人口	66,467 人
世帯数	37,449 世帯

特別区民税の負担額	
一人あたり	267,254 円
一世帯あたり	474,340 円

※ 特別区民税現年課税現年度分調定額、人口及び世帯数は、いずれも令和2年3月31日現在

6 区有財産・千代田区債及び一時借入金の様況

(1) 区有財産

区では、様々な財産を所有しています。これらには、区が仕事を行う上で必要な庁舎、学校、保育園、福祉施設、保健所、公園などの土地・建物及び株券、基金などがあります。

これらの令和2年3月末の現在高は次のとおりです。

公有財産	基金	
土地 232,348 m ²	財政調整基金	457 億 4,076 万円
	コミュニティ活性化基金	15 億 801 万円
	社会資本等整備基金	415 億 6,290 万円
建物 369,363 m ²	【内訳】 一般分	312 億 1,851 万円
	開発協力金分	103 億 4,438 万円
	災害対策基金	50 億 1,373 万円
有価証券等 62億8,421 万円	高齢者福祉基金	76 億 7,797 万円
	環境対策基金	67 億 5,833 万円
	子ども・子育て支援事業基金	62 億 404 万円
	地域福祉支援基金	2 億 5,481 万円
	介護給付費準備基金	3 億 83 万円
	合計	1,150 億 2,137 万円

※工作物及び物品は除く

※令和2年3月31日現在

(2) 千代田区債

区が公共施設の建設や土地の購入をする場合などには、一時的に多額の経費がかかるため、単年度の経常的な収入では賄いきれません。そこで、区では千代田区債（地方債）を発行し、必要な資金を調達する場合があります。

また、区債には施設建設経費を将来その施設を利用する人々にも負担していただくという、世代間の負担の公平を図る機能も有しています。

なお、令和2年3月末の千代田区債現在高は1億3,487万円で、その内訳は次のとおりです。

(単位:千円)

発行目的		令和元年9月末 現在高	令和元年度下半期		令和2年3月末 現在高
			発行額	償還済額	
普通債	土木債	25,592	0	6,088	19,504
	教育債	142,568	0	27,202	115,366
合計		168,160	0	33,290	134,870

(3) 一時借入金

一時借入金は、工事代金等の各種経費を支払う資金に一時的な不足が見込まれるとき、その不足を補うために金融機関などから借り入れる資金です。この場合、年度内に返済することが条件となります。

借入限度額は毎年度の予算のなかで定められており、令和元年度の限度額は一般会計5億円、特別会計各5千万円ですが、上半期と同様、下半期も借り入れを行いませんでした。

令和2年度当初予算の概要

安全を確保し、安心を支える予算



近年、日本各地で自然災害が多発し、昨年9月に台風第15号、10月に第19号が相次いで首都圏を直撃しました。本区でも区民生活や都市機能に影響が及んだことから、首都直下地震等の震災対策とともに台風などの風水害対策の取組みも必要となっています。

また、我が国全体では人口減少の傾向が顕著になりましたが、本区においては都心回帰や安全で安心して暮らしやすい施策の成果などから、区内への転入人口は子育て世帯を中心に増加傾向にあり、世帯構成の変化等に応じた施策が求められています。

さらに、将来に向けて、区民生活に関わる環境対策や都市を支える基盤整備事業を実施し、安全・安心なまちづくりを計画的に推進していかなければなりません。加えて、56年ぶりとなる東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催への対応も必要です。

歳入面では、国による地方法人課税の一部国税化や地方消費税の清算基準の見直しなどが行われ、今後も新たな税制改正が行われるとの予測もあり、減収が危惧されています。

また、社会経済状況を鑑みると、雇用・所得環境の改善やゆるやかな景気回復の継続が予測されている一方、海外経済の動向や金融資本市場の変動、消費税率引上げ後の需要動向など、様々な不確定要素を抱えています。とりわけ、本区は、東京都と一つの団体としてみなされ地方交付税交付金の対象ではないことから、大規模災害や経済状況の変化により区民税などが大幅に減収となる事態が生じた場合でも交付金に頼ることができず、基金等の独自財源を確保しておく必要があります。

このような本区を取り巻く状況を踏まえつつ、令和2年度予算は、これまでの財政基盤をしっかりと確立・堅持しながら、「ちよだみらいプロジェクト - 千代田区第3次基本計画2015 - 」が掲げる、豊かな地域社会の実現をめざすことを基本的な考え方として予算を編成しました。また「安全を確保し、安心を支える」ことに重点を置き、台風や大雨に関わる風水害対策、子育て支援や教育環境に関わる施策、高齢者や障害者などの福祉施策や受動喫煙防止等の保健施策など、区民生活に密接に関わる事業に加え、間近に迫る東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて必要な予算も計上しています。

なお、国の税制改正や社会経済動向など歳入面に影響を及ぼす要因の予測には難しい面もありますが、将来に向け強固な財政基盤と健全な財政運営に資するため、中長期的な視点からの事業推移や10年間の財政状況の見通し、基金の活用などについて予測を行いました。この予測を踏まえ、今後も引き続き、安定的な区民サービスの提供に努めていきます。

2

各会計予算の規模

- 令和2年度の全会計合計の予算規模は、765億27百万円、前年度対比44億47百万円、6.2%の増となり、全会計合計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。
- 一般会計は、646億26百万円、前年度対比41億44百万円、6.9%の増となり、一般会計の当初予算の規模としては、過去最大となりました。なお、区民一人あたりの予算額は98万円(※)となりました。
- 国民健康保険事業会計は、57億26百万円、前年度対比2億5百万円、3.7%の増となりました。
- 介護保険特別会計は、43億17百万円、前年度対比△6百万円、△0.1%の減となりました。
- 後期高齢者医療特別会計は、18億59百万円、前年度対比1億5百万円、6.0%の増となりました。

(※) 令和2年度一般会計予算額を令和2年1月1日現在の住民基本台帳人口65,942人で除して算出した額です。

各会計予算の編成状況

(単位：百万円)

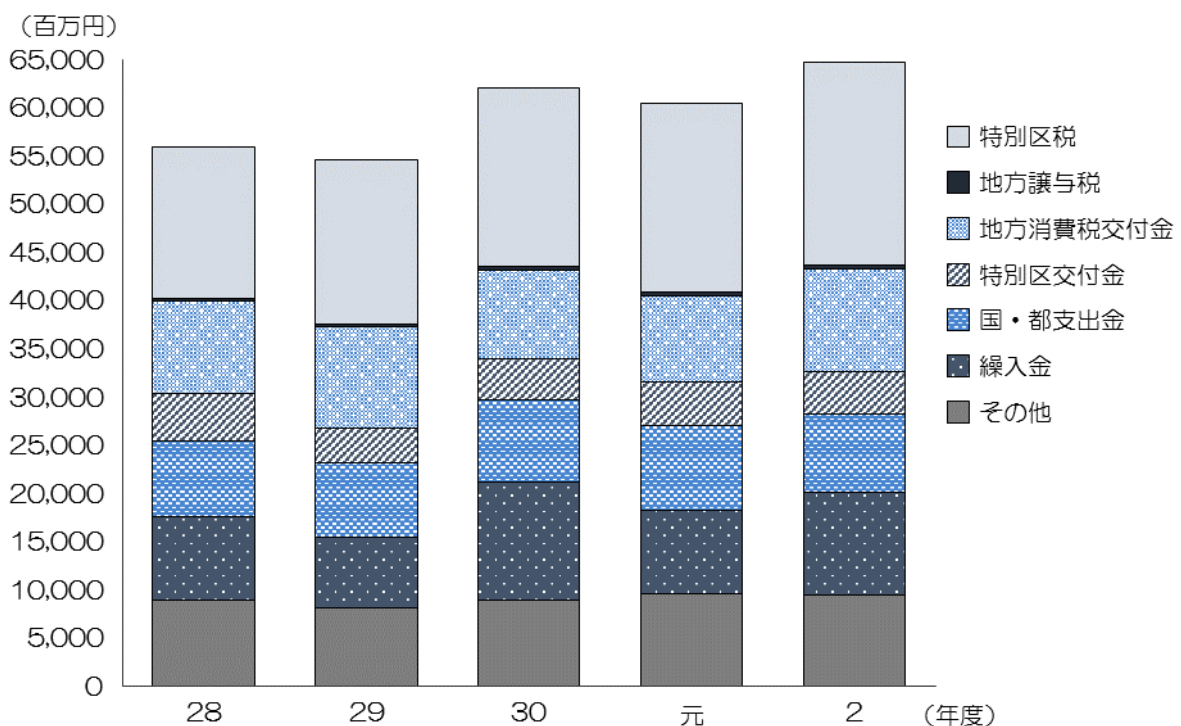
会 計 名	令和2年度	令和元年度	増(△)減額	増(△)減率
一 般 会 計	64,626	60,482	4,144	6.9%
国民健康保険事業会計	5,726	5,521	205	3.7%
介護保険特別会計	4,317	4,323	△6	△0.1%
後期高齢者医療特別会計	1,859	1,754	105	6.0%
全 会 計 合 計	76,527	72,080	4,447	6.2%

3

歳入予算（一般会計）

- 特別区税は、前年度対比 13 億 42 百万円、6.8%の増となりました。このうち特別区民税は、納税義務者数の増などにより、前年度対比 12 億 39 百万円、7.6%の増、軽自動車税は、前年度対比 4 百万円、11.9%の増、特別区たばこ税は、前年度対比 92 百万円、2.7%の増、入湯税は、前年度対比 7 百万円、88.9%の増となりました。
- 地方消費税交付金は、暦日要因のため本来令和元年度に交付される交付金が令和2年度に繰り越されることなどにより、前年度対比 17 億円、18.9%の増となりました。
- 特別区交付金は、特別区民税の増による基準財政収入額の増などにより、前年度対比△ 1 億 36 百万円、△3.0%の減となりました。
- 分担金及び負担金は、お茶の水橋の整備などの事業進捗に伴う文京区からの「橋梁補修事業費負担金」△ 79 百万円の減などにより、前年度対比△ 1 億 62 百万円、△16.5%の減となりました。
- 国庫支出金は、「私立保育園保育実施運営費」1 億 21 百万円の増はあるものの、電線類地中化などの事業進捗に伴う「社会資本整備総合交付金」△ 4 億 11 百万円の減などにより、前年度対比△ 4 億 35 百万円、△9.7%の減となりました。
- 都支出金は、「保育所等賃借料補助事業補助金」2 億 47 百万円の増はあるものの、北の丸公園周辺地域整備の完了などによる「都市計画交付金」△ 4 億 27 百万円の減などにより、前年度対比△ 2 億 83 百万円、△6.6%の減となりました。
- 繰入金は、（仮称）外神田一丁目公共施設整備などの事業進捗に伴う「社会資本等整備基金繰入金」10 億 62 百万円、旧和泉町ポンプ所跡地の購入に伴う「財政調整基金繰入金」7 億 50 百万円の増などにより、前年度対比 20 億 53 百万円、23.9%の増となりました。

歳入予算額の推移



歳入予算一覧表

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%		
1 特別区税	21,050,100	32.6	19,708,470	32.6	1,341,630	6.8
特別区民税	17,450,492	27.0	16,211,423	26.8	1,239,069	7.6
軽自動車税	34,829	0.1	31,121	0.1	3,708	11.9
特別区たばこ税	3,550,836	5.5	3,458,544	5.7	92,292	2.7
入湯税	13,943	0.0	7,382	0.0	6,561	88.9
2 地方譲与税	314,700	0.5	302,300	0.5	12,400	4.1
3 利子割交付金	50,000	0.1	50,000	0.1	0	0.0
4 配当割交付金	200,000	0.3	200,000	0.3	0	0.0
5 株式譲渡所得割交付金	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
6 地方消費税交付金	10,700,000	16.6	9,000,000	14.9	1,700,000	18.9
7 自動車取得税交付金	1	0.0	60,000	0.1	△59,999	△100.0
8 環境性能割交付金	60,000	0.1	27,000	0.0	33,000	122.2
9 地方特例交付金	30,000	0.0	11,000	0.0	19,000	172.7
10 特別区交付金	4,381,678	6.8	4,517,679	7.5	△136,001	△3.0
11 交通安全対策特別交付金	25,000	0.0	25,000	0.0	0	0.0
12 分担金及び負担金	816,804	1.3	978,613	1.6	△161,809	△16.5
13 使用料及び手数料	6,040,947	9.3	6,012,438	9.9	28,509	0.5
14 国庫支出金	4,061,512	6.3	4,496,537	7.4	△435,025	△9.7
15 都支出金	4,009,920	6.2	4,293,105	7.1	△283,185	△6.6
16 財産収入	325,169	0.5	326,478	0.5	△1,309	△0.4
17 寄附金	40,120	0.1	38,120	0.1	2,000	5.2
18 繰入金	10,660,380	16.5	8,607,355	14.2	2,053,025	23.9
19 繰越金	100,000	0.2	100,000	0.2	0	0.0
20 諸収入	1,609,436	2.5	1,577,839	2.6	31,597	2.0
歳入合計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

※入湯税は地方税法に基づき、観光の振興経費へ活用します。

※地方譲与税のうち、森林環境譲与税（14,700千円）については、森林の整備及びその促進に関する費用に活用します。

※地方消費税交付金のうち、平成26年度の消費税法改正に伴う税率改定分については、社会保障費へ活用します。

4

歳出予算（一般会計）

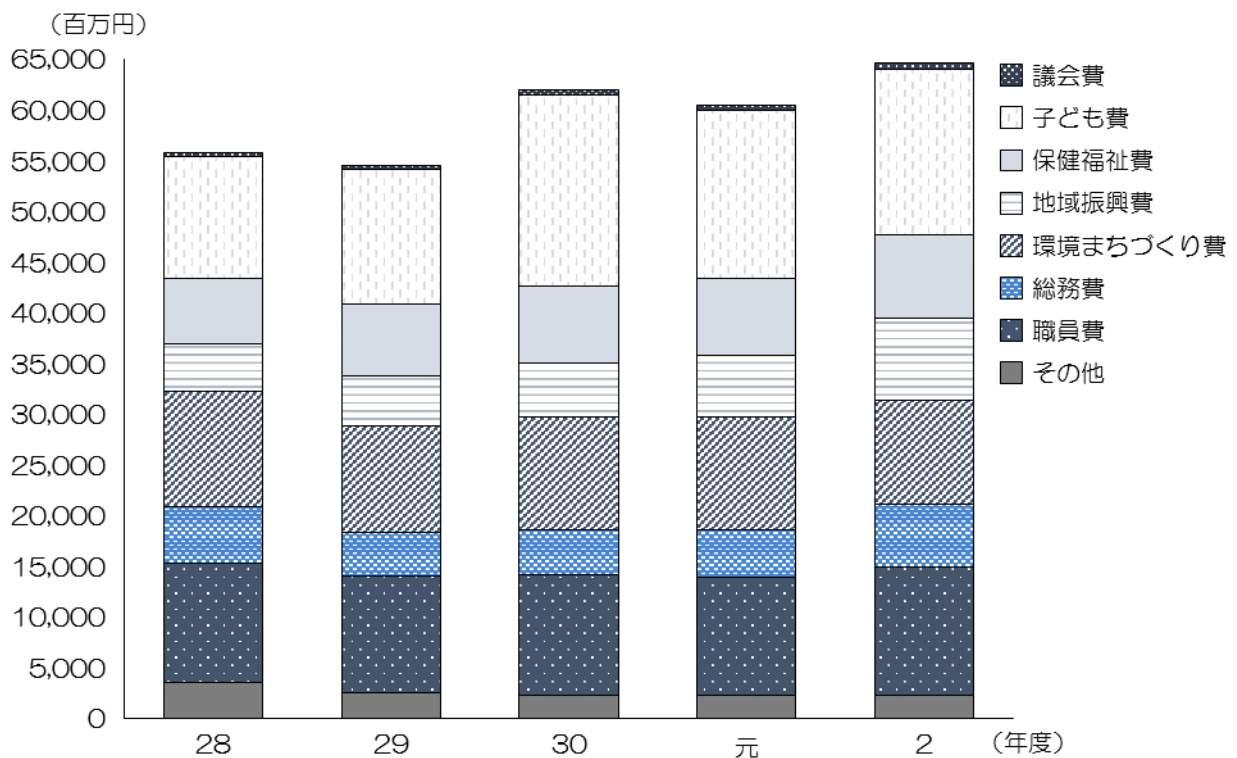
（1）目的別歳出

- 議会費は、「議会運営システムの整備」77百万円の増などにより、前年度対比72百万円、15.0%の増となりました。
- 子ども費は、「私立保育所等運営補助」6億97百万円の増があるものの、「（仮称）四番町公共施設整備」の事業進捗等による△8億79百万円の減などにより、前年度対比△1億58百万円、△1.0%の減となりました。
- 保健福祉費は、「（仮称）二番町高齢者施設の整備」3億59百万円の増などにより、前年度対比5億71百万円、7.4%の増となりました。
- 地域振興費は、「（仮称）外神田一丁目公共施設整備」20億4百万円の増などにより、前年度対比20億89百万円、34.7%の増となりました。
- 環境まちづくり費は、「（仮称）区立麴町仮住宅の整備」14億18百万円の増があるものの、「北の丸公園周辺地域整備の推進」完了による△9億58百万円、「国史跡常磐橋の修復」完了による△5億98百万円、「神田駿河台地域まちづくりの推進」の事業進捗による△3億10百万円、「電線類地中化の推進」の事業進捗による△2億87百万円の減などにより、前年度対比△8億77百万円、△7.9%の減となりました。
- 総務費は、「旧和泉町ポンプ所跡地の購入」7億61百万円、「総合住民サービスシステムのリブレース」6億39百万円の増などにより、前年度対比14億68百万円、31.0%の増となりました。
- 職員費は、会計年度任用職員制度の導入や定年退職者数の増などにより、前年度対比9億92百万円、8.5%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債利子償還金」△2百万円の減などにより、前年度対比△1百万円、△1.6%の減となりました。

歳出予算一覧表（目的別）

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額	増(△)減率
	金 額	構成比	金 額	構成比		
	千円	%	千円	%	千円	%
1 議 会 費	552,685	0.9	480,747	0.8	71,938	15.0
2 子 ども 費	16,397,226	25.4	16,555,393	27.4	△158,167	△1.0
3 保 健 福 祉 費	8,234,009	12.7	7,663,453	12.7	570,556	7.4
4 地 域 振 興 費	8,101,960	12.5	6,013,394	9.9	2,088,566	34.7
5 環 境 ま ち づ くり 費	10,223,417	15.8	11,100,261	18.4	△876,844	△7.9
6 総 務 費	6,208,410	9.6	4,740,053	7.8	1,468,357	31.0
7 職 員 費	12,629,355	19.5	11,637,582	19.2	991,773	8.5
8 公 債 費	69,844	0.1	70,997	0.1	△1,153	△1.6
9 諸 支 出 金	2,058,861	3.2	2,070,054	3.4	△11,193	△0.5
10 予 備 費	150,000	0.2	150,000	0.2	0	0.0
歳 出 合 計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

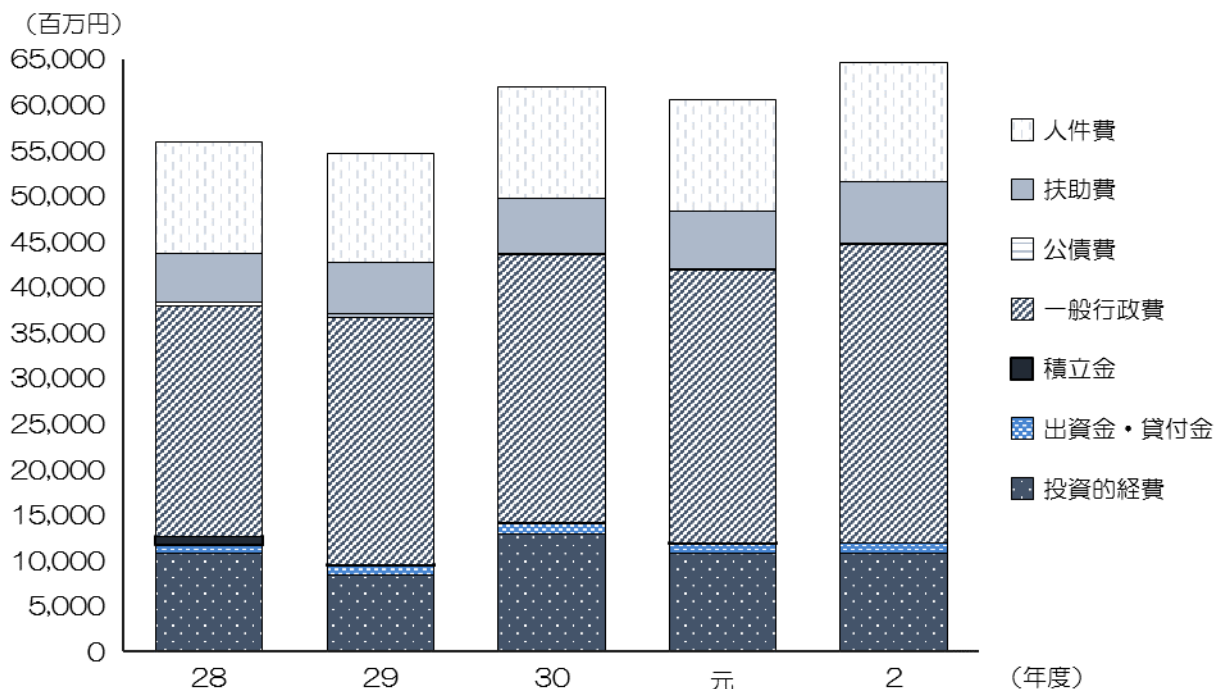
歳出予算額（目的別）の推移



(2) 性質別歳出

- 義務的経費は、前年度対比 13 億 36 百万円、7.2%の増となりました。
- そのうち人件費は、会計年度任用職員制度の導入や定年退職者数の増などにより、前年度対比9億 31 百万円、7.7%の増となりました。
- 扶助費は、子ども・子育て支援法に基づく給付である「私立保育所等運営補助」2億 68 百万円の増などにより、前年度対比4億7百万円、6.4%の増となりました。
- 公債費は、「特別区債利子償還金」△2百万円の減などにより、前年度対比△1百万円、△1.6%の減となりました。
- 一般行政費は、前年度対比 27 億 63 百万円、9.2%の増となりました。
- そのうち物件費は、「総合住民サービスシステムのリプレイス」6億 39 百万円、「公園維持管理」97 百万円、「人材派遣委託」94 百万円、「情報連絡網の整備」90 百万円、「お茶の水小学校・幼稚園の整備（埋蔵文化財調査）」86 百万円、「障害者アート世界展2020」74 百万円、「ちよだ安全・安心ネットワークの推進」69 百万円、「東京2020大会関連事業」51 百万円の増などにより、前年度対比 17 億8百万円、10.3%の増となりました。
- 補助費等は、私立保育園等への区独自や上乗せ補助等を行っている「私立保育所等運営補助」4億 29 百万円、「(仮称)二番町高齢者施設の整備」3億 59 百万円の増などにより、前年度対比 10 億 65 百万円、10.1%の増となりました。
- 投資的経費は、「北の丸公園周辺地域整備の推進」完了による△9億 58 百万円、「(仮称)四番町公共施設整備」の事業進捗による△6億 28 百万円、「国史跡常磐橋の修復」完了による△5億 98 百万円の減はあるものの、「(仮称)外神田一丁目公共施設整備」20 億 3 百万円の増などにより、前年度対比 46 百万円、0.4%の増となりました。

歳出予算額（性質別）の推移

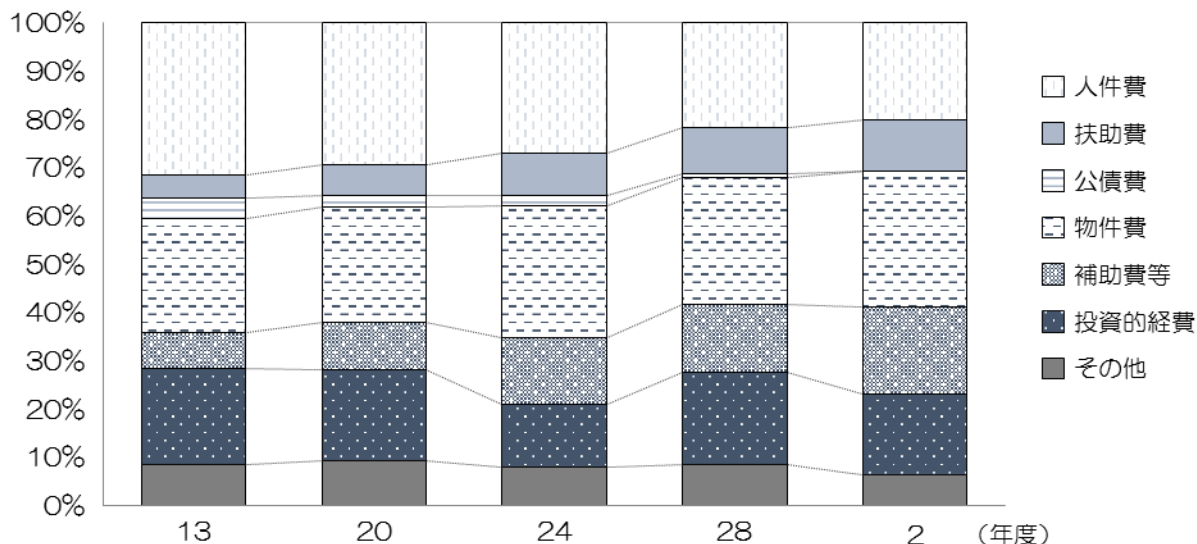


歳出予算一覧表（性質別）

区 分 科 目	令和2年度予算額		令和元年度予算額		増(△)減額 千円	増(△)減率 %
	金 額 千円	構成比 %	金 額 千円	構成比 %		
義務的経費	19,908,913	30.8	18,572,666	30.7	1,336,247	7.2
人件費	13,044,048	20.2	12,113,479	20.0	930,569	7.7
扶助費	6,795,021	10.5	6,388,190	10.6	406,831	6.4
公債費	69,844	0.1	70,997	0.1	△1,153	△1.6
一般行政費	32,744,309	50.7	29,981,089	49.6	2,763,220	9.2
物件費	18,252,100	28.2	16,544,375	27.4	1,707,725	10.3
補助費等	11,642,212	18.0	10,576,714	17.5	1,065,498	10.1
繰出金	1,994,115	3.1	2,005,143	3.3	△11,028	△0.5
その他	855,882	1.3	854,857	1.4	1,025	0.1
積立金	64,746	0.1	64,911	0.1	△165	△0.3
貸付金	1,003,575	1.6	1,003,575	1.7	0	0.0
出資金	97,810	0.2	99,046	0.2	△1,236	△1.2
投資的経費	10,806,414	16.7	10,760,647	17.8	45,767	0.4
歳出合計	64,625,767	100.0	60,481,934	100.0	4,143,833	6.9

※「その他」は、維持補修費、予備費です。

歳出予算（性質別）構成比の推移



※「その他」は、繰出金、維持補修費、積立金、貸付金、出資金、予備費です。

※平成24年度予算は、同時補正予算を含む数値です。

5

予算規模（一般会計・特別会計）の推移

各会計当初予算額の年度別推移は、下表のとおりです。

（単位：百万円）

年 度	2	元	30	29	28
一 般 会 計	64,626	60,482	61,965	54,599	55,858
国民健康保険事業会計	5,726	5,521	5,442	6,091	6,104
介護保険特別会計	4,317	4,323	4,451	4,538	4,551
後期高齢者医療特別会計	1,859	1,754	1,656	1,587	1,538
合 計	76,527	72,080	73,513	66,816	68,050
対前年度伸び率	6.2%	△1.9%	10.0%	△1.8%	9.2%

年 度	27	26	25	24	23
一 般 会 計	50,411	47,169	46,755	46,250	48,918
国民健康保険事業会計	5,982	5,117	5,097	5,001	4,898
介護保険特別会計	4,363	4,127	3,868	3,671	3,386
後期高齢者医療特別会計	1,533	1,454	1,443	1,551	1,444
合 計	62,289	57,867	57,163	56,472	58,646
対前年度伸び率	7.6%	1.2%	1.2%	△3.7%	9.2%

※平成24年度予算は、同時補正予算を含む数値です。